

メッセージアウトライン

日付	2012年10月28日
単元	捕囚と帰還
テーマ	罪は人を不自由にする
タイトル	国外追放(ゼデキヤ王と預言者エレミヤ)
テキスト	II列王記17:1-23、25:1-21、エレミヤ21:1-10
参照箇所	II歴代誌36章
暗唱聖句	ローマ6:23

導入	”EXILE(エグザイル)”というダンスグループを知ってる?”EXILE”とは「追い出される・放浪する」という意味があるんだ。キミは叱られてお家を追い出されたり、部屋から追い出されたりしたことはない?もしそうになったらどんな気持ちになるかな~?北イスラエルも南ユダもイスラエル人たち、実は自分の住んでいる国から追い出されちゃうんだ!なんで~?
I	<p>北イスラエル王国はアッシリヤに滅ぼされてしまいました</p> <p>A. イスラエル人は偶像を拝むことをやめませんでした</p> <p>B. 神さまは預言者を通してイスラエル人に何度も立ち返るように警告しました</p> <p>C. 北イスラエル王国は攻めてきたアッシリヤによって滅ぼされてしまいました</p>
II	<p>南ユダ王国にもバビロンが攻めてきました</p> <p>A. バビロンの王ネブカデネザルはエルサレムを包囲しました</p> <p>B. 神さまはエレミヤを通して南ユダ王国は滅びると語られました</p> <p>C. バビロンの兵士たちによってエルサレムの城壁は取り壊されてしまいました</p>
III	<p>南ユダ王国はバビロンに滅ぼされてしまいました</p> <p>A. ゼデキヤ王はバビロンに捕らえられてしまいました</p> <p>B. 神殿にあった礼拝の道具や宝物はすべて持っていかれてしまいました</p> <p>C. 残った人々は遠いバビロンの国に連れていかれることになりました</p>
結論	神さまの前に罪を犯して生きると私たちは不自由になります
適用	神さまを無視して偶像礼拝の罪を犯し続けた結果、イスラエルの人たちは本当の神様に戻れなくなってしまいました。そして、ついに国は滅び他の国に捕らえ移されてしまいました。実は神さまを無視して生きるとはとても「不自由」なこと。きみは神さまに罪を犯しているために、苦しかったり、不安だったり、やめられなくなったりしていることはないかな?キミの心や行いが「不自由」になっていることはない?
備考	



「かみさまのまえにつきをおかしていきるとわたしたちはふじゆうになります」



メッセージアウトライン

日付	2012年11月4日
単元	捕囚と帰還
テーマ	神さまは信じて従う者を守り救われる
タイトル	一人でも大丈夫(ダニエル)
テキスト	ダニエル1章、6章
参照箇所	
暗唱聖句	詩篇121:7

導入	キミの周りには天と地を造られた本当の神様を信じている人はどれくらいいるかな？家族全員信じている人もいるだろうし、自分だけというお友達もいるかもしれないね。今日は、本当の神様を信じない人々の国に連れて来られた人のお話だよ。どうなっちゃうんだろうね!?
-----------	--

I	<p>ダニエルと三人の少年はバビロンに捕虜として連れてこられました</p> <p>A. ネブカデネザル王はイスラエル人の中で王族や貴族を数人選んで連れて来させました</p> <p>B. 捕虜となったダニエルたちは何があっても神さまに従う決意を持っていました</p> <p>C. 神さまは異教の地でもダニエルたちを祝福し特別な力を与えてくださいました</p>
----------	---



II	<p>ダニエルは人々から妬まれてライオンの穴に投げ込まれてしまいました</p> <p>A. ダニエルは外国でも忠実に働き王様に信頼されました</p> <p>B. ダニエルをねたむ人々はダニエルに神さま以外のものを拝ませようとしていました</p> <p>C. まことの神さまだけを拝むダニエルはライオンの穴に投げ込まれてしまいました</p>
-----------	--



III	<p>神さまはライオンの穴の中でもダニエルを守ってくださいました</p> <p>A. 神さまはライオンの口をふさいでダニエルを守ってくださいました</p> <p>B. ダニエルを殺そうとした人々は反対にライオンの穴に入れられてしまいました</p> <p>C. ダリヨス王はダニエルの神さまこそ本当の神さまだと国中に伝えました</p>
------------	---



結論	神さまは信じて従う者を守り救ってくださるお方です
-----------	---------------------------------

適用	<p>1. あなたの学校や家庭で神様を信じているのは自分だけという人はいますか？ダニエルは何があっても神様を信じて従っていく決意を持っていました。神様はどんなことがあっても必ずそこから守って救ってくださる力あるお方だと知っていたからです。ダニエルのように神さまを信じて従っていきましょう！神さまは必ずあなたを守ってくださいます。</p> <p>2. あなたは神様を信じない人たちの中でどのように生活していますか？神様を信じている者らしく歩んでいますか？ダニエルは本当の神様を信じない人々の中でも、神様を信じ、良い行いに努めて王様の信頼を得ることができました。神様を信じて従う人は、この世でも輝いて生きることができます。</p>
-----------	---

備考	新バビロニア期における捕囚中のユダヤ人(※メディア人ダリヨス王)
-----------	----------------------------------

「かみさまは
しんじてしたがるものをまもり
まもってくださるおかたです」



メッセージアウトライン

日付	2012年11月11日
単元	捕囚と帰還
テーマ	神様は一人一人に特別な使命を与えておられる
タイトル	“この時”のために(エステル)
テキスト	エステル記全体(1章～10章)
参照箇所	
暗唱聖句	エレミヤ29:11 or ローマ8:28

導入 「どうしてこのようなことが起こるんだろう？」と思ったことはないかな？私たちが毎日生活をしていると良いことも悪いことも含めて思いもよらないようなことに出会うことがあるよね。今日は、奴隷として連れて来られた外国の地で一人の女の人が王妃になるという夢のようなお話だよ！どうしてそんなことがおこったんだろうね！時代が変わり、あんなに強かったバビロニア帝国もペルシヤの国に征服されてしまった。ペルシヤの王様は今までと違って捕囚となっていた人々を元の国に帰すことにしたんだ。でもそのまま住み慣れたペルシヤに留まる人もいたんだ。エステルもその一人だよ。

I エステルはペルシヤの国の王妃に選ばれました

- A. ペルシヤのアハシュエロス王は王妃になる人を探していました
- B. 城で働くユダヤ人モルデカイは父母を失ったいとこのエステルという娘を育てていました
- C. エステルは王の心にかない多くの中から選ばれて王妃となりました



II エステルはイスラエルの国を救うために立ち上がる決心をしました

- A. モルデカイは大臣ハマンに膝をかがめることをしませんでした
- B. ハマンは怒ってモルデカイとユダヤ人を皆殺しにする法律を作りました
- C. 王妃エステルはユダヤ人の救いのために命がけで王にお願いに行く決心をしました



III 神様はエステルによってユダヤ人を救っていただきました

- A. アハシュエロス王はエステルを受け入れ願ひどおりハマンと食事をすることにしました
- B. エステルは食事の席で王様にハマンの悪だくみを伝えユダヤ人が守られるようお願いしました
- C. 王様はユダヤ人を守るためにハマンを処刑しユダヤ人を救う法律を作ってくれました



結論 神様は一人一人に特別な使命を与えているお方です

適用 私たちは生きているといろんな事が起こるよね。その中には、なぜそうなったのか私たちには理由が分からないようなこともたくさんある。しかし、神さまにあってそれは全てに意味があるんだ。一つも無駄なものはないんだよ！エステルが王妃になったのには神様の深い特別な使命があったからなんだ。しかし、それは「その時」にならないと分からないものだった。キミは、今どうしてそうなったのか分からなくて悩んでいることはないかな？また、今キミが経験していることは将来神様のためにどのように用いることができるか考えてみよう！

備考 ペルシヤ期におけるバビロンに留まったユダヤ人



メッセージアウトライン

日付	2012年11月18日
単元	捕囚と帰還
テーマ	神様は主権をもってご自身の民を導かれる
タイトル	エルサレム、再び
テキスト	エズラ記1章—6章
参照箇所	
暗唱聖句	イザヤ43:13

導入	キミは引越したことがあるかな？時々前の家に帰りたくなることもあるよね。久しぶりに帰るとなんだかまっとして嬉しくなるんじゃないかな？バビロニア帝国に滅ぼされて奴隷になってずっと故郷に帰れなかったイスラエルの人たち。でも時代が変わってペルシャの国がバビロンを征服した。先週も話した通りペルシャの王様はイスラエルの人たちにエルサレムに戻ることを許してくれたんだ。エステルのようにそのまま住み慣れた所に留まる人もいたけど、多くのユダヤ人がエルサレムに戻って行ったんだ。それは神様の不思議な導きだった！
-----------	--

I	<p>ペルシャの王クロスはイスラエル人がエルサレムに帰ることを許しました</p> <p>A. 神さまはクロス王の霊に働きかけてイスラエル人がエルサレムに帰れるようにされました</p> <p>B. 多くのイスラエル人は神殿の宝物と一緒にエルサレムに戻り神殿の再建に取り掛かりました</p> <p>C. イスラエル人は神殿の土台が完成したとき神を賛美し礼拝しました</p>
----------	---



II	<p>神殿の再建には多くの困難がありました</p> <p>A. 先に住んでいた人々は神殿の再建を邪魔しました</p> <p>B. しばらくの間再建工事は中断してしまいました</p> <p>C. 神さまは預言者ハガイとゼカリヤを遣わして人々を励まし工事を再開させました</p>
-----------	--



III	<p>ダリウス王の時代になって神殿はついに完成しました</p> <p>A. ダリウス王はクロス王の命令を引き継ぎ神殿の再建を助けてくれました</p> <p>B. 神殿がついに完成しました</p> <p>C. 人々は神殿の完成を心から喜び神様に神殿を捧げるお祝いをしました</p>
------------	--



結論	神さまは主権をもってご自身の民を導かれるお方です
-----------	---------------------------------

適用	<p>1. イスラエルの人々は本当に不思議な方法で再び故郷のエルサレムに帰ることができたんだ。なんと神さまは真の神さまを知らない異国の王様に働きかけてイスラエル人を導き神殿の再建までさせてくださったんだね。神さまはすべてのことを支配しておられるお方なんだ。もしも今、心配していることや不安なことがあったとしても、僕たちがただ神さまを信頼して、信じて従っていくなら、神さまは必ず守って助けて下さるよ！</p> <p>2. イスラエル人はエルサレムに戻ってきてまず第一に神さまを礼拝する神殿の再建に取り掛かったんだ。それは、すべてのことの中に神さまを置く信仰の表れと言える。キミはまず神さまを第一に求めているかな？</p>
-----------	---

備考	ペルシャ期における先に帰還したユダヤ人(※メディア人クロス王、ペルシャ人ダリウス王)
-----------	--

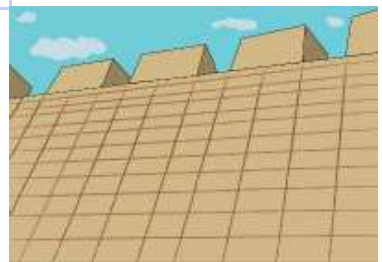
かみさまは しゅけんをもって
ごじしんのだみき みちびかれるおかたです。



メッセージアウトライン

日付	2012年11月25日
単元	捕囚と帰還
テーマ	神様はへりくだって助けを求める者の祈りに応えてくださる
タイトル	お祈りの力ってすごい(ネヘミヤ)
テキスト	ネヘミヤ記1章、2章、4章～6章16節
参照箇所	
暗唱聖句	詩篇50:15 or ヘブル4:16

導入	キミは神さまにお祈りして応えられたことあるかな？「お祈りなんかしたって何も変わらないよ！」と思うかな。お祈りは天地を造られた何でもできる神様とお話しすること！今日はネヘミヤさんのお祈りを通してどんなことが起こったか聖書から学ぼう！神殿が再建されてからすでに50年以上経ってもまだエルサレムの街は荒れたままだったんだ。ネヘミヤさんはそのことを悲しんでエルサレムに戻ることを決意したんだよ。
I	<p>ネヘミヤはエルサレムが荒れ果てていることを聞いて神様に祈りました</p> <p>A. ネヘミヤはエルサレムが荒れ果てて人々が苦しんでいることを聞いて涙をもって祈りました</p> <p>B. アルタシャスタ王はネヘミヤがエルサレムの城壁を直すために帰ることを許してくれました</p> <p>C. ネヘミヤは城壁を再建するためにひそかに準備を進め人々を励ました</p>
II	<p>ネヘミヤは神さまに祈りながら城壁を直していきました</p> <p>A. サヌバラテやトビヤたちはユダヤ人が城壁を再建させないように妨害しました</p> <p>B. ユダヤ人の中からも文句を言う人々がありました</p> <p>C. ネヘミヤはいつも神様に祈りながら困難な中でも城壁を建て上げていきました</p>
III	<p>神様はネヘミヤを助けて城壁を再建させて下さいました</p> <p>A. サマリヤの役人たちはネヘミヤを殺そうとしました</p> <p>B. 最後までネヘミヤは神さまに助けを求めて祈りました</p> <p>C. 神様はネヘミヤを助けて城壁をついに完成させて下さいました</p>
結論	神様はへりくだって助けを求める者に応えてくださるお方です
適用	ネヘミヤは異国の地で王様の献酌官としてとても高い地位にいた人でしたが、神様を信じ、どんな時にもへりくだって神さまに助けを求めてお祈りする人でした。キミは自分の力でやろうとしてくるとなっていないかな？神様は「僕にはできないから、神様助けて！」とへりくだって助けを求めることを喜ばれる。そしてお祈りを必ず神様は聞いてくださるんだ。神様にお祈りたいことはあるかな？
備考	ペルシャ期における後に帰還したユダヤ人(ペルシャのアルタシャスタ王)



かみさまはへりくだって
たすけをもとめるものには
こたえてくださいます。

